

時間割コード	Q3103900	開講年度	2026				
授業題目	発達心理学概論【第3欄】					担当教員	横嶋 敬行
英文授業名							
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	L, S, T, A, F
講義室	共通教育 1 3 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	人間の発達は生涯に渡り続くものであり、教師は児童生徒の過去・未来の発達に対して見通しを持ちながら教育活動を行うことが必要である。そこで、身体・運動、知能・認知、感情・人格、言語、対人関係・社会性といった各領域の基本的な発達について学ぶとともに、グループワークやディスカッションを通して教育に活用する観点を身につける。						
(5)授業のキーワード	発達，教育，感情，認知，対人関係，障害						
(6)授業計画	場所：松本キャンパス 9月3日 第1回：発達心理学とは 第2回：生涯発達（胎児期から児童期まで） 第3回：生涯発達（青年期から老年期まで） 第4回：身体と運動の発達 9月4日 第5回：知的能力と認知の発達 第6回：感情と人格の発達 第7回：ことばの発達 第8回：対人関係・社会性の発達，授業アンケート（最後の15分で実施） 定期試験は実施しない。						
(7)成績評価の方法	授業内で課す小課題，グループワーク，発表，レポート等を総合的に判断して評価する（100％）。						
(8)成績評価の基準	以下の評価基準を基に評価する。 各活動のテーマに沿って論を展開できているか 学んだ知識や技術を活用し，テーマについて考察することができているか 自身の考えや今後の展望を具体的に論じることができているか 論理的に文章が構成・展開されており，質・量において十分か 上記の ～ のうち，すべてを満たしており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」， ～ をすべて満たしていれば「かなり上にある」，3項目を満たしていれば「やや上にある」，2項目を満たしていれば「水準にある」。						
(9)事前事後学習の内容	授業内で紹介する参考文献，資料やeALPSにアップする授業スライド等を用いて，予習・復習を行うこと。この授業は15時間以上の時間外学習が必要となる。						
(10)履修上の注意	・本授業は，教員免許状取得のための必修科目「発達と教育」を履修済みであることを推奨する。 ・授業計画は，履修者の数や興味・関心やその時々 ¹ の社会的状況等に照らして変更する可能性がある。						
(11)質問、相談への対応	質問・相談は授業前後，面談，メール等で受け付ける。面談を希望する場合は，なるべく事前にメールで希望日時を相談すること（t_yoko@shinshu-u.ac.jp）。						
(12)授業への出席	本授業は「信州大学における授業の出席に関する要項」第4に規定する「学修の補充の対象とする事由」で欠席し，補充を受けた場合を含み，欠席回数が3回以上になると，授業の達成目標に到達することができないため単位が認定されません。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は，共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請をおこなってください。						
【教科書】	指定なし（レジュメ等の資料を配布する）						
【参考書】	渡辺弥生(監修)『完全カラー図解 よくわかる発達心理学』ナツメ社						